

# Campus Life News

2019.3.6 Wed No.33

## 2019年度前期 授業料免除申請の手続きが始まります！

2019年度前期 授業料免除申請の手続きが始まります。授業料免除の申請を希望する学生のみなさんは、期間内に必ず所定の手続きを行ってください。

### ■申請スケジュール

- ・以下の「①一次申請（WEB入力）」、「②二次申請（出願・書類提出）」まで全て終えて手続き完了となります。
- ・申請期間を過ぎた場合は一切受付できません。

①一次申請（WEB入力）	
申請期間	3月18日（月）12時～4月9日（火）17時（厳守） （入力不可期間：3月28日（木）17時～4月1日（月）8時30分まで） ・入学料免除・徴収猶予は入学手続き時に事前申請も必要です
申請方法	在学学生 WEB 手続 (KULASIS TOP ページ「授業料免除等申請システム」)
	大学院の 新入生 (※) WEB 手続 (入学予定者サイト Home 画面「経済支援について」よりリンク) ・4月1日（月）8時30分以降は KULASIS TOP ページ「授業料免除等申請システム」から申請してください。(入学予定者サイト経由で一次申請済の場合、再度の一次申請は不要です) ※2019年度前期に本学の修士課程や博士（後期）課程等に入学予定の在学学生は、「大学院新入生」に含まれます。

②二次申請（出願・書類提出）	
申請期間	4月8日（月）9時～4月12日（金）17時 (学内便・郵送の場合、必着です。)
申請方法	書類手続 (提出時に「提出用封筒」を受け取り、封筒に必要事項を記入のうえ、必要書類を入れて、所属学部・研究科等の教務担当窓口または学生課奨学掛窓口へ提出してください。) ※申請者の家族・家計状況に関する書類を事前に準備しておいてください。(書類によっては、入手に大変時間がかかるものもあります。例. 給与支給(予定)証明書、診断書、保険証の新規(再)発行、源泉徴収票の再発行など)

＜注意：2019年度から手続方法等が変わります！！＞

### ①手続方法：

【変更前】一次申請（WEB）・二次申請（WEB）  
・三次申請（出願・書類提出）

【変更後】一次申請（WEB）・二次申請（出願・書類提出）  
※WEB手続が一つになりました。

### ②納付期限の猶予：

【変更前】授業料免除申請者は、一次申請を完了すると結果通知後まで授業料の納付を猶予。

【変更後】授業料免除申請者は、二次申請を完了すると結果通知後まで授業料の納付を猶予。  
(一次申請までで手続きを放棄した場合は、通常通り5月下旬に授業料を納付してください。)

詳しくは、こちらをご確認ください。



2019年度前期手続きの詳細

## アジア未来リーダー育成奨学金プログラム（AFLSP）成果報告会を開催しました！

2月2日（土）に本学主催による、アジア未来リーダー育成奨学金プログラム（Asian Future Leaders Scholarship Program、※以下AFLSP）成果報告会2019を総合生存学館東一条館大講義室201にて開催し、本学のAFLSP奨学生が成果報告を行いました。

はじめに、川添信介 理事・副学長から、本学がAFLSPに参加してから5年目を迎え、本学奨学生の学びの成果を発信する場として本報告会を開催する運びとなった経緯について説明がありました。続いて内田勝一 百賢亜州研究院（Bai Xian Asia Institute）Academic Committee代表から、開会の挨拶として、

本学におけるAFLSPに対する取り組みへの期待について発言がありました。

報告会では、趙亮 総合生存学館准教授及び張凱淳 工学研究科講師による運営のもと、午前の部はAFLSP奨学生8名から、1年間の学習・研究成果、SDGs（持続可能な開発目標）に関する提言、社会貢献活動について発表がありました。

写真撮影及びランチブレイクの後、午後の部ではAFLSP奨学生16名から発表がありました。発表を受けて、内田代表、神崎護 国際学生交流委員会アジア未来リーダー育成奨学金プログラム小委員会委員長（農学

研究科教授) 及びAFLSP奨学生OB・OG等から講評がありました。最後に、優れた取組み及び発表を行ったAFLSP奨学生2名に表彰を行いました。

当奨学金プログラムを通じて、学生達が文化の多様性についての理解を深め、国際社会で活躍するリーダーとしての資質を育む機会となることが期待されます。



## 第3回京都大学久能賞授賞式・報告会を開催しました！

1月17日(木)、京都大学久能賞の第3回授賞式・報告会を京都大学百周年時計台記念館にて行いました。2018年度の受賞者は、平岡ちひろさん(工学研究科修士1年生)、木谷百花さん(医学部2年生)の2名でした。

本賞は、京都大学OGの久能和子氏、祐子氏のお母様である久能悠子氏からのご寄附により、科学・技術分野において自ら定めた独創的な夢を持つ意欲のある女子学生を支援することを目的として設立されたものです。

式では、まず川添信介 理事・副学長より「本賞は、成果や結果ではなく将来の夢や志に対して贈るもので、選考は難しいが、毎回、賞にふさわしい学生を選ぶことができていると考えています。2017年度からは受賞者を2名に増やしていただき、今回も2名の受賞者を迎えることができました」との挨拶がありました。

続いて、稲葉カヨ 理事・副学長(京都大学久能賞選考委員長)より、今回の申請者数、選考時の経緯などの説明があり、また受賞者、報告者の専門分野について紹介がありました。そして「京都大学久能賞の趣旨にふさわしい夢と志を持った受賞者を選考することができました」と講評を締めくくりました。

表彰状および副賞の授与の後、平岡さん、木谷さんより、受賞に至った自らの夢についての発表がありました。平岡さんは「キルギス氷河地帯の水収支をモデル化し、地球温暖化に伴う世界の水不足の解決につなげたい。過酷な環境での現地調査も、女性であっても臆せず取り組みたい」と、また木谷さんは「いまだ途上国では感染症で亡くなる人が後を絶たない。現地調査を行い、社会的な面も考慮したうえで感染症や薬剤耐性菌についての解決方法を探っていきたい」とそれ

ぞれ抱負を述べました。

その後、2017年度受賞者2名から、今年度の成果、活躍について報告がありました。飛田美和さん(工学研究科修士1年生)は「執筆した論文2本が相次いで高く評価された。また留学生グループ来日時に通訳を務め、刺激を受けた。現在、本来の夢である回転機的设计理論確立に向けて研究を進めています」と語りました。岩上真子さん(工学研究科修士1年生)は「光エネルギーを利用するために用いる光触媒の設計に取り組み、研究者としての基礎能力を養うことができた。次世代型エネルギーについて提案できるオリジナリティを持った人材を目指したい」と抱負を述べました。

最後に、久能悠子氏より「皆さんの発表、報告を聞き感銘を受けました。賞の設立や選考に尽力くださった先生方にも感謝したい」との謝辞の言葉と、「長い人生では足踏みすることもあると思うが、常に明るく前向きに歩んでいただきたい」と受賞者に向けて温かい励ましの言葉をいただきました。



## 公式 Twitter 、学生意見箱

京大生への学生生活支援の一環として、公式Twitterによる情報発信を行っています。各種学生生活支援に関する情報などを積極的にお届けしますので、ご活用ください。

また、京大生のみなさんの学生生活における日頃の疑問やご要望にお応えするため、「学生意見箱」を設けています。こちら是非ご活用ください。

公式Twitterアカウント@CLI\_KU



学生意見箱



京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

発行者：学生担当理事・副学長

問い合わせ先：教育推進・学生支援部 学生課

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL (075) 753-2505 FAX (075) 753-2567

URL <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/cli/cln>

